

勤務医に対するアンケートの実施について

第1回作業部会で勤務医に対するアンケートの実施についていただいたご意見

- まずは勤務医の実情を知るため、制度改正の内容に対する知識や、情報収集の方法についてアンケートを実施してはどうか。
- 網羅的な調査は難しいかもしれないが、例えば大学病院と市中病院、都市部の病院と地方の病院など、属性に幅を持たせた上でサンプル調査を行うことで、多様な声を集められるのではないか。
- 若手医師だけでなく指導医もアンケートの対象とすることで、医療機関の実態をより把握できるのではないか。



- いただいたご意見を踏まえて、対象を全世代の勤務医としたアンケートを、事務局主体で実施することとしてどうか。

アンケートの目的と方法（案）

目的

- 勤務医を対象に、次の3点を目的としてアンケートを実施し、作業部会の議論の参考とする。
 - ・ 働き方改革に関する勤務医の現時点の知識・認識度を把握すること
 - ・ 勤務医自身の働き方に関する考えを把握すること
 - ・ 勤務医に向けての効果的な情報発信に関するヒントを得ること
- ※医師の働き方改革の是非・賛否を問うことを目的としたものではない

方法

- (1) 対象： 複数の病院（大学病院・公的病院・私立病院等）の勤務医 ※構成員の協力を得て実施
- (2) データ収集方法： インターネットを用いたアンケート調査
- (3) 調査期間： 2021年12月下旬（第2回作業部会終了後）～2022年1月上旬
- (4) 分析・結果報告： 事務局において結果を分析し、本作業部会にて結果を報告

I. 自身の働き方に関する設問

○ あなたの働き方に対する考え方についてお尋ねします。

問1 あなたは、現在、勤務医として働くことに満足していますか。

- ① 満足 ② どちらかといえば満足 ③ どちらかといえば不満 ④ 不満

問2-1 あなたは、今後も長く勤務医として働き続けたいと思いますか。

- ① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない

問2-2 問2-1で③または④を選択した方にお尋ねします。その理由はなぜですか。（複数回答可）

- ① 将来的に開業を検討しているため ② 臨床医以外の働き方に興味があるため
③ 勤務医としての待遇に不満があるため ④ 体力面で不安があるため ⑤ 家庭の事情
⑥ その他（自由記入）

問3 あなたの現在の働き方について、1日の活動時間（睡眠時間を除く）を100%としたとき、1日において仕事へ割いている時間の割合を選択してください。厳密でなく、おおむねの体感でかまいません。

- ① 1割程度 ② 3割程度 ③ 5割程度 ④ 7割程度 ⑤ 9割程度

問4-1 現在、勤務医として働いている労働時間の長さについてどう思いますか。

- ① とても長い ② 長い ③ ちょうど良い ④ 短い ⑤ とても短い

問4-2 現在、勤務医として働いている労働時間を今後どのようにしていきたいと思いますか。

- ① もっと増やしたい ② 少し増やしたい ③今のままがよい ④ 少し減らしたい ⑤ もっと減らしたい

Ⅱ. 医師の働き方改革の制度認知に関する設問

○ 以下のそれぞれの項目について、次の選択肢から回答してください。

- ・ よく知っている(学会の発表等のために自ら調べたことがあり、他人におおまかな概念を説明できる)
- ・ ある程度知っている(講演やニュース・文書等を通じて内容についての説明を見聞きしたことがある)
- ・ 少し知っている(言葉は聞いたことがある程度)
- ・ 全く知らない(聞いたことがない)

問1 医師の時間外労働の上限規制が2024年度から開始となること

問2 医師の時間外労働の上限水準には、業務内容等に応じて、A水準・B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準があること

※A水準: 下記の水準に当てはまらない医師に適用される水準(時間外・休日労働の上限: 年960時間)

B水準: 救急医療をはじめ、政策的に確保が必要な医療に従事する医師に適用される水準(時間外・休日労働の上限: 年1,860時間)

連携B水準: 派遣されて複数の医療機関で働くことにより、地域医療の確保に必要な役割を果たす医師に適用される水準(時間外・休日労働の上限: 年1,860時間)

C-1水準: 希望する臨床研修医・専攻医に適用される水準(時間外・休日労働の上限: 年1,860時間)

C-2水準: 高度な専門技術の修得を目指す医師に適用される水準(時間外・休日労働の上限: 年1,860時間)

問3 時間外・休日労働の上限は、全ての医師がその時間まで労働を強いられるものではなく、あくまで許容される上限であること

問4 在院時間が全て労働時間として計上されるのではなく、医療機関で過ごす時間には、労働時間に該当しない自己研鑽の時間が含まれること

問5 長時間労働を防ぐための勤務間インターバル(退勤から次の出勤までに一定の時間を空けるルール)、代償休息等の健康確保措置の内容

問6 宿日直許可のある宿日直とそうでない宿日直の違い、許可の基準

※ 宿日直許可: 労働密度が低く労働時間として計上しないことについての労働基準監督署の許可

Ⅲ. 医師の働き方改革の制度周知に効果的な方策に関する設問

○ 以下の設問に回答してください。

問1 医師の働き方改革に関する情報は、主にどのような経路で入手していますか(3つ以内)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 厚生労働省による発信 | <input type="checkbox"/> 所属学会による発信 |
| <input type="checkbox"/> 所属組織(病院・診療科・医局等)による発信 | <input type="checkbox"/> 周囲(上司や同僚)からの発信 |
| <input type="checkbox"/> 一般メディア(テレビ・新聞・雑誌等) | <input type="checkbox"/> 一般メディア(Web・SNS等) |
| <input type="checkbox"/> 医療情報メディア(新聞・雑誌等) | <input type="checkbox"/> 医療情報メディア(Web・医療情報アプリ等) |
| <input type="checkbox"/> 医師の働き方改革に関する情報をほとんど、または全く入手していない | |
| <input type="checkbox"/> その他(自由記入) | |

問2 医師の働き方改革に関する情報は、どのような形で発信されると最も目に留まりますか(1つ選択)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 厚生労働省による発信 | <input type="checkbox"/> 所属学会による発信 |
| <input type="checkbox"/> 所属組織(病院・診療科・医局等)による発信 | <input type="checkbox"/> 周囲(上司や同僚)からの発信 |
| <input type="checkbox"/> 一般メディア(テレビ・新聞・雑誌等) | <input type="checkbox"/> 一般メディア(Web・SNS等) |
| <input type="checkbox"/> 医療情報メディア(新聞・雑誌等) | <input type="checkbox"/> 医療情報メディア(Web・医療情報アプリ等) |
| <input type="checkbox"/> その他(自由記入) | |

問3 あなた自身の働き方改革を進めるために、何について優先的に知りたいと思いますか(複数回答可)

- | | |
|---|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 医師の働き方改革の意義と必要性 | <input type="checkbox"/> 各種上限水準の詳細 |
| <input type="checkbox"/> 追加的健康確保措置(勤務間インターバル、代償休息等) | |
| <input type="checkbox"/> 労働時間に該当しない自己研鑽の範囲・基準 | |
| <input type="checkbox"/> 医療機関における医師の働き方改革に関する効果的な取組 | |
| <input type="checkbox"/> 特になし | <input type="checkbox"/> その他(自由記入) |

IV. 対象者基礎情報

○ あなたに関する情報について、次の問に回答してください。

問1 あなたの性別を選択してください。（男性・女性・その他・回答しない）

問2 あなたの年代を選択してください。（20代・30代・40代・50代・60代・70代以上）

問3 あなたの卒業年を選択してください。（選択式）

問4 あなたの診療科を選択してください。臨床研修医の場合は「臨床研修医」を選択してください。（選択式）

問5 現在、1か月のうち、夜間（土日祝日の夜間も含む）に勤務する回数はおおむねどの程度ですか。（外勤も含む）

① 0回 ② 1～2回（週1回未満） ③ 3～4回（週1回程度） ④ 5～7回（週1～2回程度） ⑤ 8回以上（週2回以上）

問6 現在、1か月のうち、24時間連続して休息をとれる日は、おおむねどの程度ですか。（外勤も含む）

① 0日 ② 1～2日（週1回未満） ③ 3～4日（週1回程度） ④ 5～7日（週1～2回程度） ⑤ 8日以上（週2回以上）